

平成26年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 26年 5月 ～ 26年 7月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①プロピネ (アクトール顆粒水和剤), ②BPMC (バグザ乳剤),
③クロチニジン (ダントツ水溶剤)
(2) 有効成分名及び成分含有率 ①プロピネ 70.0%, ②BPMC 50.0%,
③クロチニジン 16.0%
(3) 被験物質のLot No. ①16.10 PD14B00002, ②17.10 4225N,
③18.10_EJA059

被験物質 (処理区B, C)

- (1) 一般名・剤型 ④MEP (スミチオン乳剤), ⑤PAP (エルザン乳剤),
⑥EPN (EPN乳剤), ⑦ダニシノン (ダニシノン乳剤)
(2) 有効成分名及び成分含有率 ④MEP 50.0%, ⑤PAP 50.0%,
⑥EPN 45.0%, ⑦ダニシノン 40.0%
(3) 被験物質のLot No. ④18.10 3Z26N, ⑤17.10HCB001,
⑥18.10HCK027, ⑦15.10_C2HC4

被験物質 (処理区D, E)

- (1) 一般名・剤型 ⑧テトラジホン (テトラジホン乳剤), ⑨ニテンピラム (ベストガード水溶剤)
(2) 有効成分名及び成分含有率 ⑧テトラジホン 8.0%, ⑨ニテンピラム 10.0%
(3) 被験物質のLot No. ⑧18-10 25001, ⑨16.10 KJA244

被験物質 (処理区F)

- (1) 一般名・剤型 ⑩トリフルミゾール (トリフルミゾール水和剤), ⑪ヘノミル (ヘノミル水和剤),
⑫イミノクサシナルベシル酸塩 (ヘルケート水和剤)
(2) 有効成分名及び成分含有率 ⑩トリフルミゾール 30.0%, ⑪ヘノミル 50.0%,
⑫イミノクサシナルベシル酸塩 40.0%
(3) 被験物質のLot No. ⑩16.10 749888, ⑪17.10 EAA012,
⑫15.10 HAB-096SM

2. 農作物名 すいか 品種名 ひとりじめ

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村栄一, 内藤 寛, 奴田原誠克, 小川和己, 谷山頼清, 高芝和明, 中村達都

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 ①壇塚土・壇土・軽壇土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度 (畝間・株間)・株数 (/10a)、水管理等、
被覆資材 (茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トマト栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種: 平成26年4月10日, 定植: 5月2日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm, 1条植,

約1800株/10a, 施肥: 平成25年4月28日 苦土石灰 100kg/10a, こうち園芸ペレット (6-8-4)

83kg, マルチ栽培, その他管理は慣行に従った。人工交配: 5月27日～6月2日。

収穫期間 (適期): 平成26年7月上中旬。

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ —
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

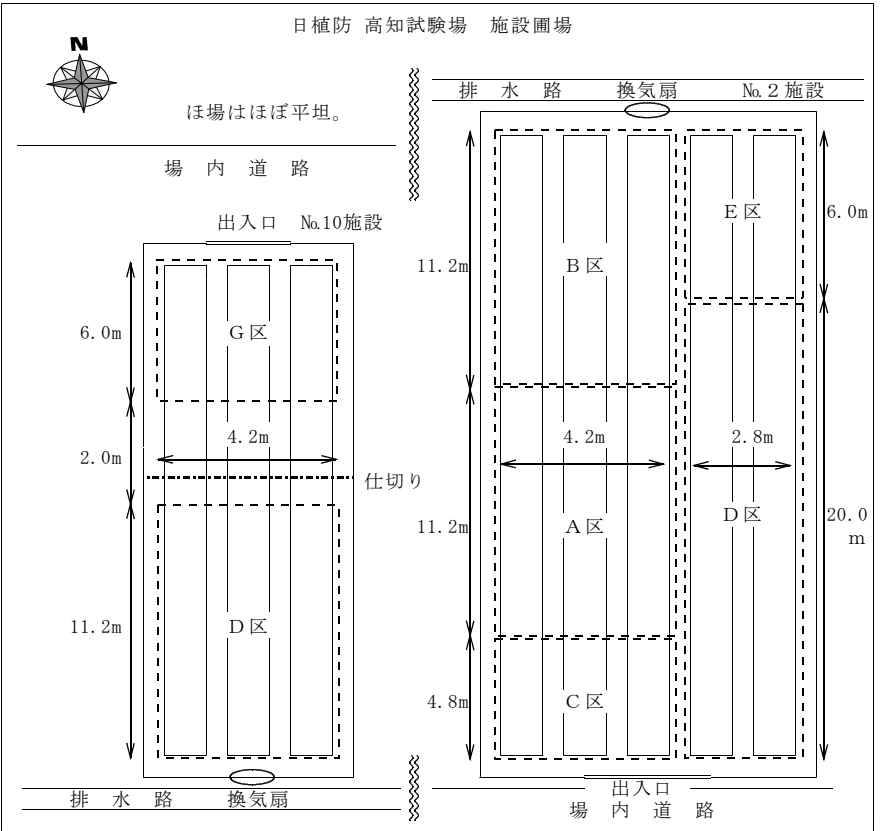
- (1) 1試験区の面積および本 (株) 数 処理区A, B, C: 各47.0㎡, 84株, 処理区C, D: 各20.2㎡, 36株
処理区F: 56.0㎡, 100株, 無処理区G: 25.2㎡, 45株
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 処理区A, B, C, E, F: 面積225.0㎡, 容積680m³, 高さ3.4m
処理区D, 無処理区G: 面積129.6㎡, 容積347m³, 高さ3.0m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



1 1 . 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	G 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							1 0 a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H26年 6月12日	①				無処理	① 400倍	2 8 3 L	①33. 3g/13. 3L/47. 0㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月17日	①, ②, ③					① 400倍, ②1500倍, ③2000倍	2 8 3 L	①33. 3g, ② 8. 9ml, ③6. 7g/13. 3L/47. 0㎡	成熟期	茎葉散布
6月23日	①, ②, ③					① 400倍, ②1500倍, ③2000倍	2 8 3 L	①33. 3g, ② 8. 9ml, ③6. 7g/13. 3L/47. 0㎡	成熟期	茎葉散布
6月30日	①, ②, ③					① 400倍, ②1500倍, ③2000倍	2 8 3 L	①33. 3g, ② 8. 9ml, ③6. 7g/13. 3L/47. 0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日										
月 日	① : プ [®] ロビ [®] ネフ [®] (アトラコ [®] ル顆粒水和剤) ② : BPMC (ハ [®] ツチ乳剤) ③ : クロチアニシン (ダ [®] ントク水溶剤)									
月 日										
月 日										
月 日										

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H26年 6月12日	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バ [®] ッテリ噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカ [®] コンノズ [®] ル1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 16:00	処理時の天候 : くもり	当日の天候 : 晴れのちくもり
6月17日	背負式バ [®] ッテリ噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカ [®] コンノズ [®] ル1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 16:45	処理時の天候 : 雨	当日の天候 : くもりのち雨
6月23日	背負式バ [®] ッテリ噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカ [®] コンノズ [®] ル1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 16:10	処理時の天候 : くもり	当日の天候 : くもり
6月30日	背負式バ [®] ッテリ噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカ [®] コンノズ [®] ル1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 15:10	処理時の天候 : くもり	当日の天候 : くもり
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1.1. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	G 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）		
H26年 5月28日		⑥			無処理	⑥1000倍	281L	⑤13.2ml/13.2L/47.0㎡	開花結実期	茎葉散布
6月2日		④, ⑥				④700倍, ⑥1000倍	281L	④18.9ml, ⑥13.2ml/13.2L/47.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月7日		④, ⑥				④700倍, ⑥1000倍	281L	④18.9ml, ⑥13.2ml/13.2L/47.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月12日		④, ⑥, ⑦				④700倍, ⑥1000倍, ⑦700倍	279L	④18.7ml, ⑥13.1ml, ⑦18.7ml/13.1L/47.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月17日		④, ⑤, ⑦				④700倍, ⑤1000倍, ⑦700倍	279L	④18.7ml, ⑤13.1ml, ⑦18.7ml/13.1L/47.0㎡	成熟期	茎葉散布
6月23日		④, ⑤, ⑦				④700倍, ⑤1000倍, ⑦700倍	279L	④18.7ml, ⑤13.1ml, ⑦18.7ml/13.1L/47.0㎡	成熟期	茎葉散布
6月30日		④, ⑤, ⑦				④700倍, ⑤1000倍, ⑦700倍	279L	④18.7ml, ⑤13.1ml, ⑦18.7ml/13.1L/47.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日	④：MEP（スミオン乳剤） ⑤：PAP（エルサン乳剤） ⑥：EPN（EPN乳剤） ⑦：ダ・イシン・ノン（ダ・イシン・ノン乳剤）									
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H26年 5月28日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；15:45	処理時の天候：晴れ	当日の天候：くもりのち晴れ
6月2日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；17:15	処理時の天候：くもり	当日の天候：くもり
6月7日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；8:50	処理時の天候：くもり	当日の天候：晴れのちくもり
6月12日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；16:40	処理時の天候：くもり	当日の天候：晴れのちくもり
6月17日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；17:15	処理時の天候：雨	当日の天候：くもりのち雨
6月23日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；17:50	処理時の天候：くもり	当日の天候：くもり
6月30日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；15:25	処理時の天候：くもり	当日の天候：くもり
月 日				
月 日				
月 日				

（1）展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

（2）備考 ー

1.1 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	G 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）		
H26年 5月23日			⑥		無処理	⑥1000倍	220L	⑥ 4.4ml / 4.4L/20.2㎡	生育期	茎葉散布
5月28日			⑥			⑥1000倍	283L	⑥ 5.7ml / 5.7L/20.2㎡	開花結実期	茎葉散布
6月 2日			⑥			⑥1000倍	283L	⑥ 5.7ml / 5.7L/20.2㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月 7日			⑥, ⑦			⑥1000倍, ⑦700倍	283L	⑥ 5.7ml, ⑦ 8.1ml / 5.7L/20.2㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月12日			⑦			⑦700倍	279L	⑦ 8.0ml / 5.6L/20.2㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月17日			⑦			⑦700倍	279L	⑦ 8.0ml / 5.6L/20.2㎡	成熟期	茎葉散布
6月23日			⑦			⑦700倍	279L	⑦ 8.0ml / 5.6L/20.2㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日	⑥：EPN(EPN乳剤)									
月 日	⑦：ダイトン(ダイトン乳剤)									

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H26年 5月23日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；18:10	処理時の天候：晴れ	当日の天候： 晴れ
5月28日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；18:10	処理時の天候：晴れ	当日の天候： くもりのち晴れ
6月 2日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；16:50	処理時の天候：くもり	当日の天候： くもり
6月 7日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻； 9:40	処理時の天候：くもり	当日の天候： 晴れのちくもり
6月12日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；18:00	処理時の天候：くもり	当日の天候： 晴れのちくもり
6月17日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；16:20	処理時の天候：雨	当日の天候： くもりのち雨
6月23日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；17:00	処理時の天候：くもり	当日の天候： くもり
月 日				
月 日				
月 日				

（1）展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

（2）備考 ー

1.1 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	G 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）		
H26年 6月17日				⑨	無処理	⑨1000倍	283L	⑨13.3g/13.3L/47.0㎡	成熟期	茎葉散布
6月23日				⑧, ⑨		⑧ 500倍, ⑨1000倍	283L	⑧26.6ml ⑨13.3g/13.3L/47.0㎡	成熟期	茎葉散布
6月30日				⑧, ⑨		⑧ 500倍, ⑨1000倍	283L	⑧26.6ml ⑨13.3g/13.3L/47.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日										
月 日										
月 日	⑧：テトラジホシ(テデオン乳剤) ⑨：ニテンピラム(ベストガード水溶剤)									
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H26年 6月17日	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；16:40	処理時の天候：雨	当日の天候：くもりのち雨
6月23日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；16:15	処理時の天候：くもり	当日の天候：くもり
6月30日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンソノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；15:10	処理時の天候：くもり	当日の天候：くもり
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	E 区	G 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）		
H26年 6月12日				⑨	無処理	⑨1000倍	282L	⑨ 5.7g/ 5.7L/20.2㎡	果実肥大期	茎葉散布
6月17日				⑧, ⑨		⑧ 500倍, ⑨1000倍	282L	⑧11.4ml, ⑨ 5.7g/ 5.7L/20.2㎡	成熟期	茎葉散布
6月23日				⑧, ⑨		⑧ 500倍, ⑨1000倍	282L	⑧11.4ml, ⑨ 5.7g/ 5.7L/20.2㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日										
月 日										
月 日	⑧：テトラシ [®] ホン(テデ [®] オン乳剤) ⑨：ニテンピ [®] ラム(ヘ [®] ストガード [®] 水溶剤)									
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H26年 6月12日	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコーンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；16:35	処理時の天候：くもり	当日の天候： 晴れのちくもり
6月17日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコーンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；17:15	処理時の天候：雨	当日の天候： くもりのち雨
6月23日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコーンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；15:30	処理時の天候：くもり	当日の天候： くもり
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず. 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1 1 . 処理方法 (下の A ~ G 欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	F 区	G 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							1 0 a 当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H26年 6 月 7 日				⑩, ⑪	無処理	⑩3000倍, ⑪2000倍	2 8 2 L	⑩ 5.3g, ⑪ 7.9g/15.8L/56.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
6 月 1 2 日				⑩, ⑪, ⑫		⑩3000倍, ⑪2000倍, ⑫1000倍	2 8 2 L	⑩ 5.3g, ⑪ 7.9g, ⑫15.8g, /15.8L/56.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
6 月 1 7 日				⑩, ⑪, ⑫		⑩3000倍, ⑪2000倍, ⑫1000倍	2 8 2 L	⑩ 5.3g, ⑪ 7.9g, ⑫15.8g, /15.8L/56.0㎡	成熟期	茎葉散布
6 月 2 3 日				⑩, ⑪, ⑫		⑩3000倍, ⑪2000倍, ⑫1000倍	2 8 2 L	⑩ 5.3g, ⑪ 7.9g, ⑫15.8g, /15.8L/56.0㎡	成熟期	茎葉散布
6 月 3 0 日				⑩, ⑪, ⑫		⑩3000倍, ⑪2000倍, ⑫1000倍	2 8 2 L	⑩ 5.3g, ⑪ 7.9g, ⑫15.8g, /15.8L/56.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日										
月 日										
月 日	⑬トリフルミゾール (トリフミン水和剤)									
月 日	⑭ベノミル (ベンレート水和剤)									
月 日	⑮イミノクタジナルベシル酸塩 (ベールコート水和剤)									

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年 6 月 7 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンソノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 9:40	処理時の天候 : くもり 当日の天候 : 晴れのちくもり
6 月 1 2 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンソノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 17:00	処理時の天候 : くもり 当日の天候 : 晴れのちくもり
6 月 1 7 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンソノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 17:30	処理時の天候 : 雨 当日の天候 : くもりのち雨
6 月 2 3 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンソノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 16:50	処理時の天候 : くもり 当日の天候 : くもり
6 月 3 0 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンソノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; 15:45	処理時の天候 : くもり 当日の天候 : くもり
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H26年 6 月 2 6 日							G (無処理)	採取 8:40 ~ 9:00 天候:くもり	G	G 区: 15個 (26.4kg) × 1 分析	6 月 2 6 日
7 月 1 日	A-1					F-1		採取 9:20 ~ 9:45 天候:くもり	A → F	A 区: 5個 (13.9kg) F 区: 5個 (10.9kg) × 1 分析	7 月 1 日
7 月 3 日	A-2	B-1				F-2		採取 10:15 ~ 10:45 天候:雨	A → F → B	A 区: 5個 (13.5kg) B 区: 5個 (10.3kg) × 1 分析 F 区: 5個 (11.5kg)	7 月 3 日
7 月 7 日		B-2		D	E-1	F-3		採取 10:40 ~ 11:40 天候:くもり	E → D → F → B	B 区: 5個 (10.6kg) D 区: 5個 (8.8kg) E 区: 5個 (8.9kg) F 区: 5個 (11.5kg) × 1 分析	7 月 7 日
7 月 8 日	A-3							採取 11:20 ~ 11:35 天候:くもり	A	A 区: 6個 (19.6kg) × 1 分析	7 月 8 日
7 月 1 4 日		B-3	C		E-2			採取 9:00 ~ 9:35 天候:くもり	C → E → B	B 区: 5個 (10.6kg) C 区: 5個 (12.4kg) × 1 分析 E 区: 5個 (9.5kg)	7 月 1 4 日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H26年 6 月 2 6 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) (通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7 月 1 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) (通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7 月 3 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) (通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7 月 7 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) (通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7 月 8 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) (通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7 月 1 4 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) (通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) (通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱穀・粗すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

果実を個別に包装紙で包みポリエチレン袋に入れた後、ダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを入れ、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを
貼り付けた。緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関: 株式会社 化学分析コンサルタント

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

7 月 7 日に採取した A-3 試料は、分析機関到着時に一部果実が破損していたため翌 8 日に再採取し送付した。

処理区D及び無処理区G

平成25年夏作：さやえんどう

平成25年. 9/30 アファーム乳剤2000倍 散布

10/17 アファーム乳剤2000倍,トリフシ水和剤3000倍,サンヨール500倍 散布

11/21 プレオフロアブル1000倍,トリフシ水和剤3000倍,サンヨール500倍 散布

11/25, 12/2 カッテン乳剤5000倍 散布

12/6 アファーム乳剤2000倍, スタークル顆粒水溶剤2000, トリフミン水和剤3000倍 散布

平成26年秋冬作：きゅうり

平成26年.1/17 ヘルコートフロアブル2000倍,アトマイザーフロアブル4000倍 散布

2/25 モレスタン水和剤3000倍, アトマイザーフロアブル4000倍 散布

3/12 チェス顆粒水和剤5000倍, アデイオン乳剤2000倍 散布

3/13, 20, 27 MIF-14017フロアブル1000倍, ホリオリシンZ水和剤1000倍, モレスタン水和剤3000倍 散布

平成26年春夏作：すいか

平成26年.4/15(育苗期) タコニール1000 800倍 散布

5/2 アグリメック500倍,モベントフロアブル2000倍 散布

9. 被験物質以外に使用した農薬

12/16 ヘルコート水和剤4000倍, ポリタシAL水和剤1000倍 散布

平成26年. 6/20 ウララDF2000倍, アファーム乳剤2000倍 散布

12/25 ヘルカートフロアブル1000倍, カネマイトフロアブル1000倍, サンヨール500倍 散布

平成26年. 1/6, 13, 20 `ストガード`粒剤2g/株 処理

1/10 アミスター20フロアブル1500倍, サンヨール500倍, コロマイト乳剤1000倍, モスピラン水溶剤2000倍 散布

1/24 アミスター20フロアブル1500倍, カッテン乳剤5000倍 散布

2/3, 10, 17 NNF-072170アブ^ル20 2000倍 散布

2/21 ヘルコートフロアブル2000倍, モヘントフロアブル2000倍, カッテン乳剤5000倍 散布

2/25, 3/4, 11 S-2200SC2000倍 散布

3/7 ヘルクートフロアブル2000倍, サンヨール500倍, カネマイトフロアブル1000倍 散布

平成26年夏作：すいか

平成26年. 4/15(育苗期) タコニール1000 800倍 散布

5/2 アグリメック500倍, モventoフロアブル2000倍 散布

気 象 表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温（ 1 時間毎） 降水量：日界 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

（ 2 6 年 ）

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	気温（施設内温度）																							18.6	25.1	26.7	22.0	23.4	24.8	26.2	27.3	27.8
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																							○				○				
	区記号（試料番号）																							C				B, C				
6	気温（施設内温度）	27.4	25.1	25.1	22.5	24.2	23.8	25.3	26.5	27.2	25.4	25.6	24.4	24.3	24.7	23.4	21.9	22.8	25.7	25.0	23.8	23.9	25.8	25.8	25.7	24.4	24.4	26.9	27.2	24.6		
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取		○					○				○					○						○			△					○	
	区記号（試料番号）		B, C					B, C, F					A, B, C, E, F				A, B, C, D, E, F							A, B, C, D, E, F		G					A, B, D, F	
7	気温（施設内温度）	25.9	25.3	24.0	27.4	26.9	24.4	25.7	28.2	27.8	27.0	28.5	26.6	26.6	29.2																	
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取	△		△				△	△						△																	
	区記号（試料番号）	A-1, F-1		A-2, B-1, F-2			B-2, D, E-1, F-3	A-3							B-3, C, E-2																	
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。
また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号（試験区ハールと同様の番号）を当該欄へ記入する。
施設内気温測定には、テークカー（株式会社 ティアンドティ おんどとりTR-71Ui）を使用した。

すいかグループ化

全景



一回目処理



二回目処理



三回目処理



四回目処理



五回目処理



六回目处理



七回目处理



八日目处理



採取果実



梱包



(試験期間 26年11月 ～ 26年12月)

1. 被験物質 (処理区H)

- | | | |
|-------------------|---|----------------------|
| (1) 一般名・剤型 | ①アセトギブリス®(モスリン顆粒水溶剤)、
③ヒリダベン®(サマルトフアンプル) | ②エトフェンブ®ロックス(トレボン乳剤) |
| (2) 有効成分名及び成分含有率 | ①アセトギブリス® 20.0%
③ヒリダベン® 20.0% | ②エトフェンブ® ロックス 20.0% |
| (3) 被験物質の Lot No. | ①17.10 HCJ-013SN,
③17.10-OCG523 | ②17.10 R4Y01, |

2. 農作物名 すいか 品種名 ひとりじめ

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村栄一、内藤 寛、奴田原誠克、小川和己、谷山頼清、高芝和明、中村達都

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬（別紙としても構いません）

別紙に記載.

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・いちご栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種：平成26年8月31日， 定植：9月22日， 畝幅：140cm， 株間：40cm， 1条主枝2本仕立て，
約1800株/10a， 施肥：平成26年8月26日 ケントップ 1500kg/10a， 9月12日苦土石灰 100kg/10a
マルチ栽培， その他管理は慣行に従った。

人工交配：10月20日～10月27日． 収穫期間（適期）：平成26年11月下旬～12月上旬

8. 生育ステージ

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載、

10. 試験区

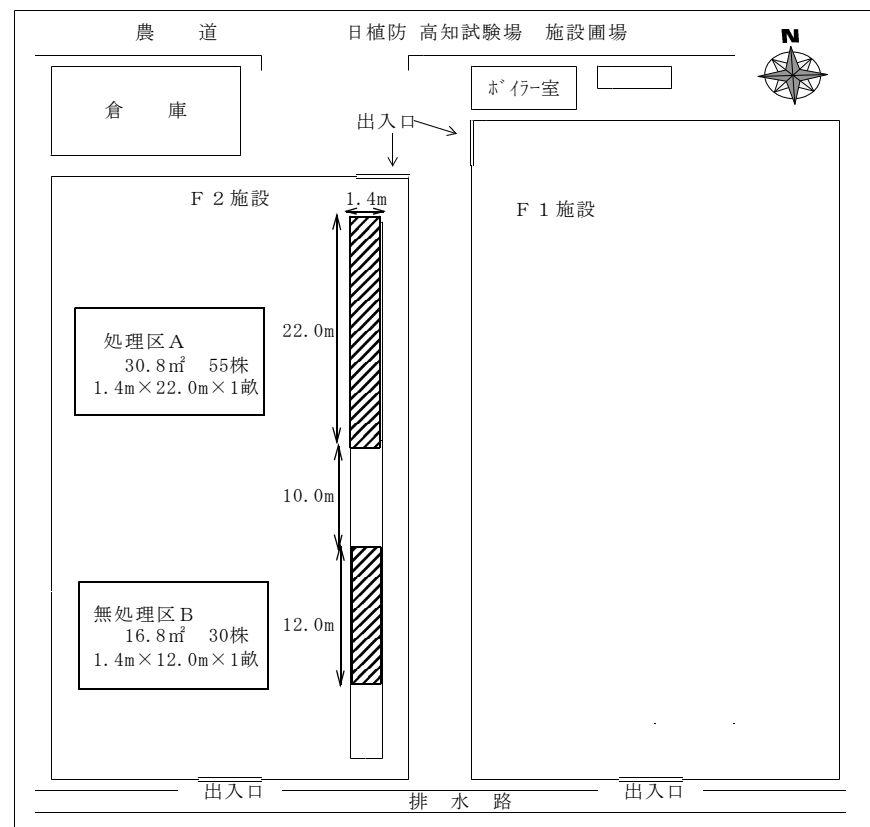
- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| (1) 1試験区の面積および本（株）数 | 処理区H：30.8㎡，55株，
無処理区I：16.8㎡，30株. |
| (2) 施設の場合、面積・容積・高さ | 面積：841㎡，容積：2,481㎥，高さ：3.9m |

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹 1 樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	H区	I区	区	区	区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）		
H26年11月10日	○	無処理				①2000倍，②1000倍	276L	① 4.3g，② 8.5ml / 8.5L/30.8㎡	成熟期	茎葉散布
11月17日	○					①2000倍，②1000倍，③1000倍	276L	① 4.3g，② 8.5ml，③ 8.5ml / 8.5L/30.8㎡	成熟期	茎葉散布
11月24日	○					①2000倍，②1000倍，③1000倍	276L	① 4.3g，② 8.5ml，③ 8.5ml / 8.5L/30.8㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日										
月 日										
月 日	①：アセタミフ [®] リト [®] （モスピラン顆粒水溶剤） ②：エトフェン [®] ロックス（トレボン乳剤） ③：ピリタ [®] ペン（サンマイトフロア [®] ル）									
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H26年11月10日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコーンノズル [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻；17:00	処理時の天候：くもり	当日の天候： 晴れ時々くもり
11月17日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコーンノズル [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻；14:00	処理時の天候：くもり	当日の天候： くもり
11月24日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコーンノズル [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻；14:40	処理時の天候：晴れ	当日の天候： くもり時々晴れ
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

（1）展着剤 ー 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

（2）備考 ー

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	H 区 試料番号	I 区 試料番号	区 試料番号	区 試料番号	区 試料番号	区 試料番号	区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H26年 1 1 月 2 7 日	H-1	I (無処理)						採取 9:30 ~ 10:40 天候:晴れ	I → H	H区: 6個(11.1kg) × 1分析 I区: 6個(10.7kg)	1 1 月 2 7 日
1 2 月 1 日	H-2							採取 9:30 ~ 9:40 天候:くもり	H	H区: 6個(11.4kg) × 1分析	1 2 月 1 日
1 2 月 8 日	H-3							採取 10:35 ~ 10:45 天候:晴れ	H	H区: 6個(11.1kg) × 1分析	1 2 月 8 日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H26年 1 1 月 2 7 日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 1 日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1 2 月 8 日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載。

各処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱穀：すり等、方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載。

果実を個別に包装紙で包みポリエチレン袋に入れた後、ダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを入れ、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを
貼り付けた。 緩衝材として包装紙を使用した。 ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関： 株式会社 化学分析コンサルタント

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

—

6．過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区H及び無処理区I

平成25年秋冬作：レタス

平成25年. 11/15 オキサミル粒剤 50kg/10a 処理

12/20 モスピラン水溶剤4000倍, スレックス水和剤1000倍 散布

平成26年. 1/13, 20 サンプロDMフロアブル1500倍 散布

1/21 シグナムWDG1500倍, スレックス水和剤1000倍, モスピラン水溶剤4000倍 散布

3/6 DC油剤 20ℓ/10a 処理

平成26年春夏作：ししとう

平成26年. 5/13 チェス顆粒水和剤5000倍, アファーム乳剤2000倍 散布

6/5 モレスタン水和剤3000倍, チェス顆粒水和剤5000倍, アファーム乳剤2000倍 散布

6/9, 16, 23 アニキ乳剤1000倍 散布

6/18 アファーム乳剤2000倍 散布

8/27 DC油剤 20ℓ/10a 処理

平成26年秋冬作：すいか

平成26年. 9/4 (育苗期) タニコール1000 800倍 散布

9/21 (育苗期) アファーム乳剤2000倍, スカッシュ 散布

10/10 ベストガード水溶剤1000倍, プレバゾンフロアブル5 2000倍, モレスタン水和剤3000倍 散布

10/30 ベストガード水溶剤1000倍, プレバゾンフロアブル5 2000倍, モレスタン水和剤4000倍 散布

9．被験物質以外に使用した農薬

11/12 トップジンMペースト 原液塗布

11/14 アグリメック1000倍, スレックス水和剤1000倍 散布

H26 グループ化（すいか）

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 日本植物防疫協会 高知試験場 当該試験施設

気温：平均気温（ 1 時間毎）

降水量：日界 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

（ 26年 ）

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11	気温（施設内温度）										21.0	21.3	20.6	19.9	19.0	20.5	21.0	19.5	19.7	20.4	20.9	21.8	22.1	22.2	22.2	21.8	21.0	21.5	22.0	22.4	20.8	
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取										○							○							○			△				
	区記号（試料番号）										H							H							H			H-1, I				
12	気温（施設内温度）	20.3	20.0	20.3	16.4	19.3	19.6	19.6	19.1																							
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取	△							△																							
	区記号（試料番号）	H-2									H-3																					
	気温（施設内温度）																															
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降水量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号（試験区ハールと同様の番号）を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、テークガー（株式会社 ティアンドティ おんどとりTR-71Ui）を使用した。

グループ化すいか

全景



一回目散布



二回目散布



三回目散布



採取時



平成 26年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 26年 10月 ～ 26年 12月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型
- ①プロピネブ（アントラコール）顆粒水和剤, ②BPMC（バッサ）乳剤,
③クロチアニジン（ダントツ）水溶剤, ④MEP（スミチオン）乳剤,
⑤PAP（エルサン）乳剤, ⑥EPN（EPN）乳剤, ⑦ダイアジノン（ダイアジノン）乳剤40,
⑧アセタミプリド（モスビラン）顆粒水溶剤, ⑨エトフェンプロックス（トレボン）乳剤,
⑩ピリダベン（サンマイト）フロアブル, ⑪テトラジホシ（テデオン）乳剤,
⑫ニテンピラム（ベストガード）水溶剤, ⑬トリフミゾール（トリフミン）水和剤,
⑭ベノミル（ベンレート）水和剤, ⑮イミノクタジナルベシル酸塩（ベルコート）水和剤

- (2) 有効成分名及び成分含有率
- ①プロピネブ 70.0%, ②BPMC 50.0%,
③クロチアニジン 16.0%, ④MEP 50.0%,
⑤PAP 50.0%, ⑥EPN 45.0%, ⑦ダイアジノン 40.0%,
⑧アセタミプリド 20.0%, ⑨エトフェンプロックス 20.0%,
⑩ピリダベン 20.0%, ⑪テトラジホシ 8.0%,
⑫ニテンピラム 10.0%, ⑬トリフミゾール 30.0%,
⑭ベノミル 50.0%, ⑮イミノクタジナルベシル酸塩 40.0%

- (3) 被験物質の Lot No.
- ①16.10 PD14B00002, ②17.10 4225N, ③18.10 EJA059,
④18.10 3Z26N, ⑤17.10 HCB001, ⑥18・10 HCK027,
⑦15.10.C2H04, ⑧17.10 HCJ-013SN, ⑨17.10 R4Y01,
⑩17.10-OCG523, ⑪18.10 25001, ⑫16.10 KJA224,
⑬16.10 749888, ⑭17.10 EAA012, ⑮15.10 HAB-096SM

2. 農作物名 すいか 品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設圃場

4. 試験責任者氏名 和田倉誠也 井園佳文 佐藤典敬 日高正浩 福元義人 布留川拓也

5. 土性 砂壤土 減水深 cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1、別紙2の通り。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齡、栽植密度（畝間・株間）・株数（/10a）、水管理等、
被覆資材（茶は寒れい紗番号）、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・ト袖栽培の被覆時期を記載する

<各施設共通>

施設栽培（加温） 穂木播種：平成26年8月21日 台木播種（品種：かちどき2号）：8月19日

接木：8月28日 定植：9月22日 畝間：2.5m 株間：0.3m 1条植 加温 透明マルチ

圃場は概ね平坦 栽植本数（10aあたり）：約1,300株 交配期間：10月9日～10月18日

収穫期間（適期）：11月中旬～（11月下旬）

施肥（10aあたり）：9月2日 堆肥3000kg 苦土石灰100kg 有機配合888号（8-8-8）56kg

CDU複合燐加安特S222（12-12-12）37kg

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

両施設とも試験期間中の農薬使用無し。

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B, D, F：各27.0㎡（36株）

処理区C, E：12.0㎡（16株） 無処理区G：22.5㎡（30株）

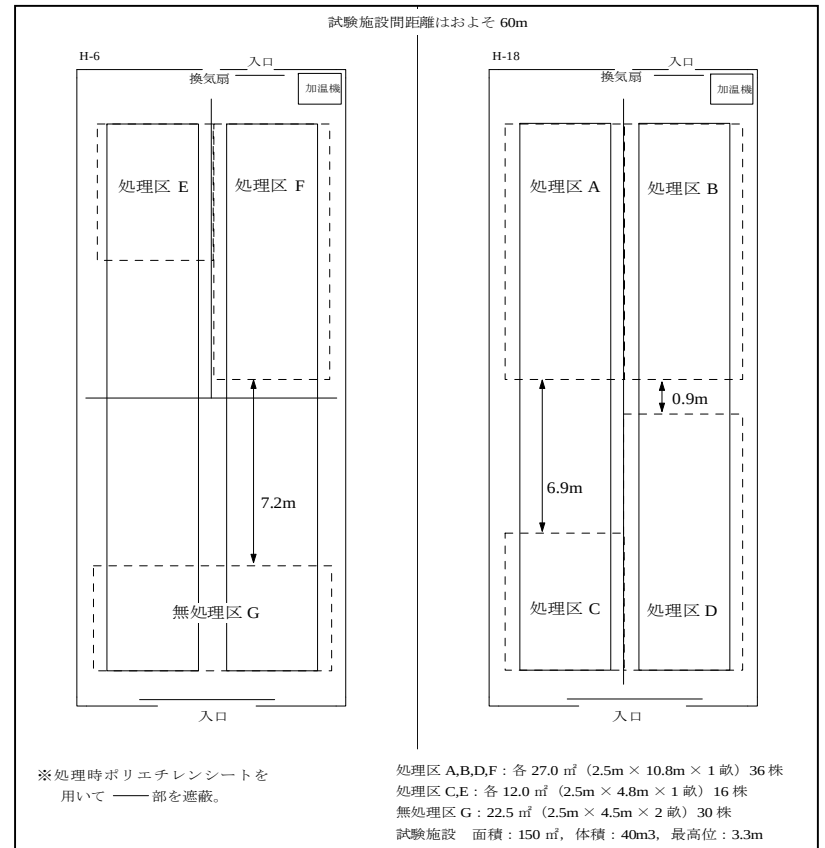
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積：150㎡（6.0m×25.0m），容積：400㎡，最高位：3.3m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



11. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	F区	G区		処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
									10a当	試験区当(散布量/面積)		
10月 10日			⑥				無処理		233L	C区：2.8L/12.0㎡	開花初期	茎葉散布
10月 15日		⑥	⑥						233L	B区：6.3L/27.0㎡,C区：2.8L/12.0㎡	開花後期～果実肥大期	茎葉散布
10月 20日		④⑥	⑥						233L	B区：6.3L/27.0㎡,C区：2.8L/12.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 25日		④⑥	⑥⑦			⑬⑭			233L	B区・F区：6.3L/27.0㎡,C区：2.8L/12.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月 30日	①	④⑥⑦	⑦		⑫	⑬⑭⑮			233L	A区・B区・F区：6.3L/27.0㎡,C区・E区：2.8L/12.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月 4日	①②③	④⑤⑦	⑦	⑧⑨⑫	⑪⑫	⑬⑭⑮			233L	A区・B区・D区・F区：6.3L/27.0㎡,C区・E区：2.8L/12.0㎡	果実肥大～成熟期	茎葉散布
11月 10日	①②③	④⑤⑦	⑦	⑧⑨⑩⑪⑫	⑪⑫	⑬⑭⑮			233L	A区・B区・D区・F区：6.3L/27.0㎡,C区・E区：2.8L/12.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月 16日	①②③	④⑤⑦		⑧⑨⑩⑪⑫		⑬⑭⑮			233L	A区・B区・D区・F区：6.3L/27.0㎡	収穫期	茎葉散布
	各試験区の希釈液作製方法（濃度・量）は下表の通り。											
	試験区名	農薬名	希釈倍数	秤量農薬量	希釈水量	試験区名	農薬名	希釈倍数	秤量農薬量	希釈水量		
	処理区A	①アントラコール顆粒水和剤	400倍	21.0g		処理区D	⑧モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	4.0g			
		②バッサ乳剤	1500倍	5.6ml			⑨トレボン乳剤	1000倍	8.0ml			
		③ダントツ水溶剤	2000倍	4.2g	8.4L		⑩サンマイトフロアブル	1000倍	8.0ml			
	処理区B	④スミチオン乳剤	700倍	12.0ml			⑪テデオン乳剤	500倍	16.0ml			
		⑤エルサン乳剤	1000倍	8.4ml			⑫ベストガード水溶剤	1000倍	8.0g	8.0L		
		⑥EPN乳剤	1000倍	8.4ml		処理区E	⑪テデオン乳剤	500倍	8.4ml			
		⑦ダイアジノン乳剤40	700倍	12.0ml	8.4L		⑫ベストガード水溶剤	1000倍	4.2g	4.2L		
	処理区C	⑥EPN乳剤	1000倍	4.2ml		処理区F	⑬トリフミン水和剤	3000倍	2.8g			
		⑦ダイアジノン乳剤40	700倍	6.0ml	8.4L		⑭ベンレート水和剤	2000倍	4.2g			
							⑮ベルコート水和剤	1000倍	8.4g	8.4L		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する									
10月 10日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	C区15:38～	天候:曇	無風	処理後の天気は曇					
10月 15日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	B区14:55～,C区15:10～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					
10月 20日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	C区16:00～,B区16:12～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					
10月 25日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	F区8:55～,B区9:15～,C区9:35～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					
10月 30日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	C区9:40～,B区9:55～,A区10:30～,E区10:40～,F区10:47～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					
11月 4日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	F区14:40～,E区14:50～,C区15:00～,D区15:50～,A区16:00～,B区16:20～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					
11月 10日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	E区13:50～,F区14:00～,C区14:07～,D区14:52～,B区15:00～,A区15:30～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					
11月 16日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB1500Li、噴霧圧力:4）に1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル）を装着し、作物全体に散布した。		処理時刻	D区10:30～,B区10:40～,F区11:30～,A区11:40～	天候:晴	無風	処理後の天気は晴					

(1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

展着剤名

濃度または量

(2) 備考

処理時、ポリエチレンシートを用いて試験区間を遮蔽した。

12. 試料採取（試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する）

区 分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
11月 17日	A-1					F-1	G	8:10-8:25, 9:40-9:45, 10:10-10:15	G→F→A	果実 各区5kg(5個)以上×1分析(無処理区は15個程度)	11月 17日
11月 19日	A-2	B-1		D-1		F-2		9:04-9:11, 9:35-9:41, 10:00-10:05, 10:25-10:32	F→A→B→D	果実 各区5kg(5個)以上×1分析	11月 19日
11月 23日	A-3	B-2		D-2		F-3		10:45-10:50, 11:15-11:20, 11:30-11:35, 11:55-12:00	F→A→B→D	果実 各区5kg(5個)以上×1分析	11月 23日
11月 30日		B-3		D-3				16:55-17:05, 17:10-17:20	B→D	果実 各区5kg(5個)以上×1分析	11月 30日
12月 1日			C		E			10:00-10:08, 10:22-10:30	C→E	果実 各区5kg(5個)以上×1分析	12月 1日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
11月 17日	1. 試料の大きさは（ 通常 ） 2. 熟期は（ 通常 ） 3. その他（ ） 4. 原因
11月 19日	1. 試料の大きさは（ 通常 ） 2. 熟期は（ 通常 ） 3. その他（ ） 4. 原因
11月 23日	1. 試料の大きさは（ 通常 ） 2. 熟期は（ 通常 ） 3. その他（ ） 4. 原因
11月 30日	1. 試料の大きさは（ 通常 ） 2. 熟期は（ 通常 ） 3. その他（ ） 4. 原因
12月 1日	1. 試料の大きさは（ 通常 ） 2. 熟期は（ 通常 ） 3. その他（ ） 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区の南北の境界部を除き、偏りがないよう区全体から市場出荷可能なサイズの試料を選び、ハサミで果柄を切断し採取した。採取直後、残った果柄をハサミで基部で切り揃え、果頂部の花卉を除去してカゴに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料を個別に包装紙材（ボークスペーパー）で包み、二重にしたポリエチレン袋に入れ、二重にしたエアクッションで包んでエアクッションを敷いたダンボール箱に入れた。箱の隙間にエアクッションを詰めた。箱の内側に試験区ラベルを外側に梱包シールを貼り付けした。なお、梱包資材は未使用のものをを用い、試験区毎に別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析場所：株式会社 化学分析コンサルタント

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で、到着を翌々日の午前中に指定し送付した。

(5) 備 考

試験場名 日植防宮崎試験場

観測地点および試料調製場所	観測地点：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂	一般社団法人 日本植物防疫協会	宮崎試験場内	当該試験施設 (H-06)	記号	○：薬剤処理日
---------------	--------------------	-----------------	--------	---------------	----	---------

記号 ○：薬剤処理日

△：試料採取日

気温：平均気温（ 1 時間毎） 降水量： 日界 一 時

(26年) 測定時刻 — 時

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号（送付カードと同様の番号）を当該欄へ記入する。

別紙1. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬（処理区E、処理区F、無処理区G設置施設 H-06）

作物名	農薬名	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
トマト	アミスター20フロアブル	13	11	8	2000倍
	ファンタジスタ顆粒水和剤	13	11	8	2000倍
	ダコニール1000	13	11	12	1000倍
	プレバソンフロアブル5	13	11	12	2000倍
	サンマイトフロアブル	13	11	12	1000倍
	ジマンダイセン水和剤	13	11	12	800倍
	ライメイフロアブル	13	11	12	2000倍
	ホライズンドライフロアブル	13	11	23	2500倍
	ダコニール1000	13	11	23	1000倍
	スミレックスくん煙顆粒	13	11	27	24g/400 m ³
	ストロビーフロアブル	13	12	10	3000倍
	アドマイヤーフロアブル	13	12	10	4000倍
	トレボン乳剤	13	12	10	2000倍
レタス	エトフィンフロアブル	14	1	28	1000倍
	エトフィンフロアブル	14	2	4	1000倍
	スミレックス水和剤	14	2	5	2000倍
	ザンプロDMフロアブル	14	2	5	1500倍
	MIF-1002フロアブル	14	2	5	2000倍
	スミレックス水和剤	14	2	7	1500倍
	MCI-8007（MIE-1209）フロアブル	14	2	10	2000倍
	エトフィンフロアブル	14	2	11	1000倍
	ザンプロDMフロアブル	14	2	12	1500倍
	スミレックス水和剤	14	2	13	2000倍
	MIF-1002フロアブル	14	2	13	2000倍
	スミレックス水和剤	14	2	14	1500倍
	MCI-8007（MIE-1209）フロアブル	14	2	17	2000倍
	エトフィンフロアブル	14	2	18	1000倍
	ザンプロDMフロアブル	14	2	19	1500倍
	MIF-1002フロアブル	14	2	21	2000倍
	スミレックス水和剤	14	2	21	2000倍
	MCI-8007（MIE-1209）フロアブル	14	2	24	2000倍
	エトフィンフロアブル	14	2	25	1000倍
	MIF-1002フロアブル	14	2	28	2000倍
	スミレックス水和剤	14	2	28	2000倍

作物名	農薬名	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
ミニトマト	ネマキック液剤	14	4	15	100倍，1000/10a全面散布，土壌混和
	サンマイトフロアブル	14	5	29	1500倍
	モレスタン水和剤	14	5	29	2000倍
-	クロピクテープ	14	8	19	110m/100m ²
すいか （現作・育苗期）	ジマンダイセン水和剤	14	9	17	800倍
	モレスタン水和剤	14	9	17	3000倍
	スタークル顆粒水溶剤	14	9	17	2000倍
	アフファーム乳剤	14	9	17	2000倍
すいか （現作・定植後）	ネマトリンエース粒剤	14	9	19	20kg/10a，全面土壌混和
	アフファーム乳剤	14	9	25	2000倍
	コルト顆粒水和剤	14	9	25	4000倍
	フェニックス顆粒水和剤	14	9	30	4000倍
	ダコニール1000	14	9	30	1000倍
	ジマンダイセン水和剤	14	10	8	800倍
	モレスタン水和剤	14	10	8	3000倍
	アフファーム乳剤	14	10	8	2000倍
	コルト顆粒水和剤	14	10	8	4000倍

別紙2. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬（処理区A、処理区B、処理区C、処理区D設置施設 H-18）

作物名	農薬名	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
食用ほおずき	イオウフロアブル	13	10	25	1000倍
	スミレックス水和剤	13	10	25	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	13	10	25	2000倍
	モレスタン水和剤	13	11	15	3000倍
	サンマイトフロアブル	13	11	15	1000倍
	アフファーム乳剤	13	11	15	2000倍
	スミレックス水和剤	13	11	15	2000倍
	スミレックスくん煙顆粒	13	11	29	6g/100 m ³
	スタークル顆粒水溶剤	13	12	6	2000倍
	イオウフロアブル	13	12	6	1000倍
	スミレックスくん煙顆粒	13	12	13	6g/100 m ³
	アフファーム乳剤	13	12	24	2000倍
	スミレックスくん煙顆粒	13	12	26	6g/100 m ³
	コルト顆粒水和剤	14	1	8	4000倍
	スミレックスくん煙顆粒	14	1	10	6g/100 m ³
	コルト顆粒水和剤	14	1	15	4000倍
	コルト顆粒水和剤	14	1	22	4000倍
	スミレックスくん煙顆粒	14	1	25	6g/100 m ³
きゅうり	スタークル顆粒水溶剤	14	4	4	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	14	4	4	500倍
	アフファーム乳剤	14	4	4	1000倍
	ダコニール1000	14	4	4	1000倍
	ベフドー水和剤	14	4	7	500倍
	ダコニール1000	14	4	11	1000倍
	カンパネラ水和剤	14	4	11	1000倍
	ベフドー水和剤	14	4	14	500倍
	ベフドー水和剤	14	4	21	500倍
	ダコニールくん煙剤	14	4	25	100g/400 m ³
	テルスターくん煙剤	14	4	25	60g/400 m ³
	モスピランジェット	14	4	25	50g/400 m ³
	ベフドー水和剤	14	4	28	500倍
	ジマンダイセン水和剤	14	4	30	500倍

作物名	農薬名	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
きゅうり	モレスタン水和剤	14	4	30	1000倍
	ダコニール1000	14	4	30	1000倍
	アフファーム乳剤	14	4	30	2000倍
	ベフドー水和剤	14	5	5	500倍
	ライメイフロアブル	14	5	9	2000倍
	コルト顆粒水和剤	14	5	9	4000倍
	アフファーム乳剤	14	5	9	2000倍
	モレスタン水和剤	14	5	9	2000倍
	ベフドー水和剤	14	5	12	500倍
	ベフドー水和剤	14	5	19	500倍
-	クロピクテープ	14	8	19	110m/100m ²
すいか (現作・育苗期)	ジマンダイセン水和剤	14	9	17	800倍
	モレスタン水和剤	14	9	17	3000倍
	スタークル顆粒水溶剤	14	9	17	2000倍
	アフファーム乳剤	14	9	17	2000倍
すいか (現作・定植後)	ネマトリンエース粒剤	14	9	19	20kg/10a, 全面土壌混和
	アフファーム乳剤	14	9	25	2000倍
	コルト顆粒水和剤	14	9	25	4000倍
	フェニックス顆粒水和剤	14	9	30	4000倍
	ダコニール1000	14	9	30	1000倍
	ジマンダイセン水和剤	14	10	8	800倍
	モレスタン水和剤	14	10	8	3000倍
	アフファーム乳剤	14	10	8	2000倍
	コルト顆粒水和剤	14	10	8	4000倍



試験施設 (H-6, H-18同型)



10月10日 (H-18)



11月17日 (H-06)



10月10日 (H-18)



10月15日 (H-18)



10月20日 (H-18)



10月25日 (H-18)



10月30日 (H-18)



11月4日 (H-18)



11月10日 (H-18)



11月16日 (H-18)



10月10日



10月15日



10月20日



10月25日



10月30日



11月4日



11月10日



11月16日



11月17日 (試料番号G)



11月17日 (試料番号G)



11月17日 (A-1)



11月17日 (F-1)



11月19日 (A-2)



11月19日 (F-2)



11月19日 (B-1)



11月19日 (D-1)



11月23日 (A-3)



11月23日 (F-3)



11月23日 (B-2)



11月23日 (D-2)



11月30日 (B-3)



11月30日 (D-3)



12月1日 (C)



12月1日 (E)